

2024 SLレインボーカートミーティング特別規則書

作成日 2024年1月15日

公示

本大会は、FIAの国際モータースポーツ競技規則法典、および国際カート規則、ならびにそれに準拠したJAF国内競技規則および国内カート競技規則とその付則および2024年SLカート規則と本大会の特別規則書に従って開催される。

第1章 大会開催に関する事項

1 大会名称 2024 SLカートミーティングレインボーカップシリーズ

2 開催日、開催コース及び主催者

第1戦 2月18日 (日)
第2戦 3月17日 (日)
第3戦 6月2日 (日)
第4戦 7月21日 (日)
第5戦 8月25日 (日)
第6戦 10月27日 (日)
第7戦 12月15日 (日)

開催場所 レインボースポーツカートコース
〒512-0937 桑名市志知3918-1
TEL (0594) 31-5333 FAX (0594) 32-3733
主催者 レインボースポーツ

3 大会組織委員、審査委員長及び大会競技委員 公式通知にて示す

4 大会事務局 開催場所と同じ

5 競技の種目・内容と格式

(1) 種目 スプリントレース

(2) 開催クラスと格式

開催クラス：キッズ(2スト、4スト)・MZカデット・ヤマハカデットオープン
KTチャレンジ・ヤマハSS・ヤマハスーパーSS・MZシニア
格式は全クラスともクローズドとする。

(3) 別クラスの混走によるレースについて(全クラス共通)

各クラスともエントリー台数が4台以下だった場合、他のクラスと混走となる場合がある。

第2章 競技参加者に関する事項

1 エントリーの資格

キッズクラスは、JKKAのライセンス所持者、ヤマハカデットクラス以上は2024年に有効なSLメンバーズカード所持者で、2024SLドライバーズ手帳を提示できるドライバーとする。
さらにSLクラスにおいては、有効なSLO安全協会加入証を所持していることとする。
また、KTチャレンジクラスはレインボーコースライセンスでも参加することができる。

2 エントリーの受付

(1) 開催1ヶ月前より4日前(水曜日)までに、所定の用紙に必要事項を記入し、エントリーフィーと共に持参又は郵送する事。
(2) 木曜日以降エントリーをする場合、1000円の事務手数料を必要とする。
(3) 木曜日以降はエントリーをキャンセルしてもエントリーフィーを支払わなければならない。

3 エントリーフィー

レインボー会員12,000円 非会員13,000円

※ピットクルー2名まで無料。

※キッズ2ストクラスのみエンジンデリバリー制のため、別途5000円必要です。

4 参加者と補助者の資格

競技に参加もしくは参加者の補助ができるのは、当日エントリーしてあるドライバー、ピットクルー及び当コースが公認したエントラントの代表者のみ。それ以外の者に補助を受けたドライバーはそのヒートを失格となる。

5 ゼッケンについて(全てのドライバーが対象になります。)

ゼッケン番号は登録することにより、自由に決めることができるものとする。ただし、選択できる番号は2～99とする。ゼッケン1については前年度のチャンピオンだけが選択できる。ゼッケンの色・形に規定はないが、バックシートを使用し(白か黄色を推奨)ゼッケンがはっきりと認識できるようにしなければならない。ゼッケンは前後に貼ること。左右に違う数字のゼッケンを貼っている場合は×印などで隠すこと。

ゼッケンの登録は第1戦開催日の1ヶ月前から受け付ける。同じ番号を希望するものが出た時は先着順とする。

一度登録した番号は、最終戦まで有効となる。途中で変更することも可能。なお指定ゼッケン及びバックシートはドライバーが用意すること。

6 自動計測装置について



- (1) 当日のレース決勝終了まで、主催者が定める計測装置を用意し、かつ使用できる状態でドライバーが取り付けることとする。機能不具合、脱落、未装着による不利益は全てドライバーが負う。
- (2) 主催者が定める計測装置を用意できない場合は、主催者から借りることとする。(レンタル料金は1,000円)
- (3) 主催者の計測器を破損、紛失した場合は、理由の如何を問わず38,000円(税別)を支払う事。
- (4) 計測器の取り付け位置は、シートの後方または左側面へ脱落しないように強固に取り付ける。(写真参考)
- (5) 公式練習中、計測機の不具合が発見された場合、オレンジボールにて計測機の交換をする場合がある。

第3章 車両規定

1 車両規定について(全クラス共通)

車両規定については原則として、2024 S L規定に準ずるものとし、それ以外については以下に記す。

- (1) A・通称脱落式フロントフェアリングについて、ヤマハカデットオープン、MZカデット、ヤマハSS、ヤマハスーパーSSのクラスは必備とします。
フロントフェアリングのチェック方法として、2023国内カート競技車両規則第9条ボディワーク(5)フロントフェアリング③基準CによるCIK-FIA公認フロントフェアリングが正しい装着状態でない場合は、タイムペナルティ5秒加算となる。
B・チェッカーを受けた後の重量測定前にチェックする。その際チェックが終わるまで車両から降車することは認められない。
C・この裁定に対する抗議は認められない。
- (2) YAMAHAカデットオープンクラスのギア比は自由とする。
- (3) レースで使用するタイヤにはタイムトライアル出走までにタイヤ4本の両側面にゼッケンを記入すること。
- (4) 急激な天候の変化により、ウエットタイヤに限り、全選手に追加1セットの使用を認める場合がある。交換に関しては当該ドライバーの任意とする。
- (5) エンジンオイルはCIK公認オイルまたはSLO認定オイルを使用すること。

2 キッズ車両規定について

クラス	エンジン			シャシー		タイヤ	重量	ライセンス
	機種	ジェット	改造	機種	改造			
キッズ 2スト	EC 04ER (デリバリー)	メインジェット 65番以上	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	ホイールベースが 800mm以下で市販 されているもの。 リアアックスル25パイ以下	禁止 Fブレーキ禁止	ドライ DL SLJ レイン DL SLW 2	7.8kg (チャレンジ は自由)	キッズ ライセンス

エンジン規定

- (1) キッズエキスパートクラス(2スト)のエンジンはデリバリー制とする。
エンジンはレース当日の朝に車検場で抽選して渡される。
デリバリーされたエンジンの改造・変更は一切禁止。そのまま使用すること。
- (2) ガソリン、オイルは主催者が用意し、当日エンジン配布の後に車検場にて渡される。
ガソリンの追加支給は、予選と決勝ヒートの間に1度のみ行われる。
- (3) デリバリーのエンジンオイルは「MOTUL Bio(混合比20:1)」を使用する。
- (4) 万が一、エンジンを破損等した場合には、修理費を後日請求する。
- (5) **ドラムクラッチアッシー、キャブレター及びFスプロケはドライバーが用意する。**
- (6) デリバリーのエンジンは決勝終了後、すみやかにエンジンを車検場へ返却する。
- (7) ニードルのイーリングクリップ位置は**自由**とする。
- (8) **スプロケット及びギア比は、自由とする。**
- (9) プラグは「NGK: BPM7AかBPM8Y」のみ。**【プラグギャップは0.69mm以下】**
- (10) キャブレター、吸気消音器の改造は禁止、市販状態でなければならない。
ただし、**レイン宣言時フィルターの取り外しを可とする。**
- (11) マフラーは純正に限る。ただし排気口径12mm以下、ガスケットも純正のみとする。

クラス	エンジン			シャシー		タイヤ	重量	ライセンス
	機種	ジェット	改造	機種	改造			
キッズ 4スト	ホンダ GXH50	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	切削・付加等一切 の変更・改造禁止	ホイールベースが 800mm以下で市販 されているもの。 リアアックス25パイ以下	禁止 Fブレーキ禁止	ドライ DL SLJ レイン DL SLW 2	78kg	キッズ ライセンス

エンジン規定

- (1) キッズエキスパートクラス(4スト)のエンジンはマイエンジンとする。
- (2) スプロケット及びギア比は自由とする。

服装規定(キッズクラス共通)

- (1) ネックガード、プロテクターベストを必備とする。

シャシー規定(キッズクラス共通)

- (1) フレーム(リアバンパーも含む)を切断、加工は一切禁止とする。
- (2) カーボンファイバー材質の部品の使用禁止とする(シートを除く)。
- (3) ホイールはアルミニウム製のみ。ホイールの幅はフロント130mm以下、リアは180mm以下に限る。
フロントハブタイプの使用は認める。但しハブは60mm以下のもので、17パイ以下のもの。
ホイールハブはフロント、リア共にアルミ製のみ。
- (4) フロントフェアリング、サイドボックス、ロールバーは必備とする。
- (5) 右サイドボックスのみ、強度を不足しない程度で切削することができる。
- (6) ブレーキシステムは機械式のみとし、油圧式は禁止する。
- (7) アライメントアジャスターの装着は自由とする。

3 MZカデットクラス車両規定について

- (1) 車両規則、競技規則は、以下の場合を除きSL規則に準じるものとする。
- (2) スプロケットギヤは固定とし、フロント18丁、リア65丁とする。
- (3) 最低重量は110Kgとします。
- (4) 主催者判断により当該年度1年生から参加できますが、シリーズポイントは当該年度2年生からとなります。

4 KTチャレンジクラス車両規定について

- (1) 車両規則、競技規則は、以下の場合を除きSL規則に準じるものとする。
- (2) エンジンはKT100SDもしくはKT100SECとする。
- (3) タイヤはダンロップSL22もしくはブリヂストンSL17のどちらかとする。
- (4) ノイズボックスは自由とする。
- (5) 最低重量は145キロとする。

5 MZシニアクラスについては別紙参照のこと。

第4章 競技に関する事項

1 公式練習

カート競技会運営に関する規則 第23条及び24条にもとづき公式練習を行う。

2 タイムトライアル

(1) タイムトライアルは以下のいずれかの方法で行なう。

①【ぐるぐるタイムトライアル 5分間計測】

公式練習とは別に5分間のタイムトライアルの時間を設け、その中でベストタイムを成績とする。また、途中でピットインし、再スタートすることは認められず、ピットインした場合は終了となる。タイムトライアルのスタートする場所については、ダミーグリッドまたはピットロードからのスタートとし、どちらでも可能とする。

②【1周計測タイムトライアル】

ピットインの1周、タイム計測1周、ピットアウト1週の計3周でタイムトライアルを行なう。タイムトライアルの出走順はオフィシャルがコイントスで決定する。また、一度でもコースインした場合、再トライは出来ない。

(2) 第1戦、3戦、5戦、7戦は、1周計測とし、第2戦、4戦、6戦は5分間のベストラップ計測のタイムトライアルとする。

3 レースの方法

各クラスともレースの参加台数によりレースの方式を決定する。原則として予選レースを1ヒート決勝レースを1ヒート行い、決勝レースの結果にて最終順位とする。

予選ヒートを2ヒート行う場合、予選ヒートのグリッドは、両予選ともにタイムトライアルの結果とする。それぞれ予選の結果にポイントをつけ、その合計ポイントが多かったドライバーから順に決勝のグリッドとする。決勝はポイントではなく、結果がそのまま最終の順位となる。

それ以外の方法にて行われる場合は、公式通知にて公示される。

4 スタート

(1) キッズクラスのスタート方法は、スタートラインよりグリッドスタートとする。1周のフォーメーションラップの後、再グリッドし全車一斉にスタートする。スタートの合図はシグナルもしくは、フラッグ(日の丸)で行うものとする。

カデット以上のクラスのスタート方法は、ローリングスタートとする。スタートライン25m手前に引かれたイエローラインを越えるまではアクセルを全開にしてはならない。

(2) ローリング中に隊列から遅れた場合、自分のポジションに戻ろうとする場合は、必ずローリングの後方より戻らなければならない。ローリングの先頭を待って自分のポジションに戻る行いは一切禁止する。また、ショートカットによる復帰も一切禁止とする。ローリング中に隊列から遅れてしまい、復帰する場合でも、11コーナーの白線からスタートラインまでの区間は、追い越し及び割り込みは禁止され、これを違反したものはペナルティとする。

白地に赤×の旗を受けた場合、当該車両は最後尾につかなければならず、自分のグリッド位置に戻ることはできない。

ローリング中停止してしまった場合は全車両が通過するまで再スタートを試みてはならない。スタートの時、スタートフラッグが振られるまでは、追い越し、進路変更をしてはならない。

(3) フォーメーションラップの隊列は2列で、幅約2メートルのレーン(コリドー)を走行しなければならない。

(4) ローリング中に隊列を整える義務を怠ったり、遅延行為または、スポーツマンシップに反する行為をしたと判断した場合、白黒旗を提示する。それでも改善されない場合はペナルティを科す場合がある。

(5) ローリングラップで隊列が整い、スピードが安全であり、かつイエローライン上で順位が正しい場合、日章旗がふられ上記規制は解除される。

(6) コリドーを守らなかった場合の罰則は原則ない。しかし、上記(4)のように、隊列が整っていないと判断され、スタートがきれず繰り返す場合は、オフィシャルの指示を故意に無視しているとみなし、ペナルティを課す場合がある。

(7) ローリング中やタイムトライアルのウォーミングラップの時に危険な走行を禁止する。

5 その他の競技に関する一般事項

- (1) ビットインしたドライバーは必ず一時停止をしなければならない。又ビットロードでのオーバースピードはペナルティーとなり、これに対する抗議は一切認められない。
- (2) チェッカー後、明らかに危険行為と見なされる場合、競技長の判断にてペナルティーを課する場合がある。
- (3) レース中にスピンや接触等で停止した場合、安全の為にオフィシャルが回収することがある。その後、ドライバーが安全を確認して再スタートすることは出来るが、その再スタートの手助けをオフィシャルがすることは原則ない。(ただし危険を排除する目的で手助けする場合はある。)
- (4) キッズ、カデット、ジュニアクラスのドライバーは公式練習、タイムトライアルおよびレース中(フォーメーションラップ含む)スピン等で車両が停止し、カートから降りなければならない状況の時は、原則としてリタイヤとなる。
- (5) ストレートの右側にあるイエローラインはホワイトラインと同じとみなし、イエローラインをカットもしくはライン上にカートが進入した場合でもペナルティーの対象とはしない。
- (6) 予選・決勝のスタート時にトラブル等でビットスタートとなった場合、そのローリングの隊列に戻れたとしても自身のグリッド位置には戻れず、最後尾からのスタートとする。
- (7) 全てのクラスでWチェッカーをした場合、ペナルティーが科せられる場合がある。

6 レインボースポーツでの最終コーナー黄旗について

最終コーナーの黄旗振動はコーナー出口にて事故発生の時に示される。この時の違反者についてのペナルティーは、黒旗と同様のペナルティーを課す場合がある。

7 ウォーミングアップエリアについて

全クラスともパドックでのエンジン始動を禁止する。カートのウォーミングアップエリアは車検場横の車両保管場所のみとする。

キッズクラスのエンジン始動については、必ずタイヤが地面に設置した状態でエンジン始動とする。タイヤが地面から浮いている状態で空ぶかしした場合はペナルティとなる。

8 パドックについて

パドック内は常時禁煙とする。喫煙はフロント入口のみとする。

9 ウィニングランについて

決勝ヒート終了後、優勝者によりウィニングランを行う場合がある。なお優勝者はウィニングランのあと計量を行う。ウィニングラン後の計量で重量が足りなければ失格となる。

10 立ち入り禁止エリアについて

コース長ボックスより車検側は原則立ち入り禁止。またヒート終了後も車検に行く場合はビットロードを通らず、駐車場側から向かうこと。

第5章 シリーズ戦に関する事項

1 シリーズポイント

SLカートミーティング特別規則に準じて算出される。ポイントは**7戦中6戦有効**とする。最終戦(第7戦)のポイントは通常の1.5倍として加算する。小数点以下は切り上げで計算される。

2 正賞及び副賞

レインボーカートミーティングは参加台数が3台以上で成立とし、**シリーズは7戦中6戦**の成立試合が必要である。これを満たさない場合、そのシリーズは成立しない。

3 シリーズ賞について

シリーズランキング3位までをレインボーシリーズの表彰対象者とする。

SLクラスチャンピオンは、エンジン（KT100SECベースエンジン）と次年度のエントリーフィーが無料になる。

ただし、それぞれのクラスでシリーズの総参加台数が**65台以上**であることとする。

シリーズとして成立したが総参加台数が**45台以上65台未満**だった場合は、次年度のエントリーフィーが無料となる。

第6章 抗議

「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、書面をもって抗議料を添付の上、エンタラントより競技長を経由して、大会審査委員会に提出するものとする。

1 抗議提出の時間制限

- (1) 競技に関する抗議 当該、暫定結果発表後30分以内
- (2) 車両に関する抗議 自己の車検終了後に直ちに15分以内

2 抗議料 22,000円(税込)

「モーターレースは危険な為、立ち入り禁止の場所には絶対に入らない。
立ち入り禁止の場所に入って事故があっても、オーガナイザーは責任を負わない。」